

出版補助事業(2018年度)について

新聞通信調査会は、毎年、公益事業としてメディア関係研究論文の出版を助成する事業を実施しています。筆者の経済的な負担なしで最大 1000 部程度を発行し、全国の大学や公立図書館などに寄贈し、筆者には 50 部を提供します。2018 年度の募集要項は以下の通りです。奮ってご応募ください。

◇応募資格

メディア関係分野を研究している研究者、記者、編集者らを対象とします。論文は未発表のもので、原則としてすでに完成されたものに限りません。

◇補助対象作品

当調査会の「審査委員会」が応募作品の中から原則として 1、2 点を選び、決定します。

◇補助金額

編集費用（校正費などを含む）、印刷、製本費用などを全額、当調査会が負担します。取材費用や原稿料は出ません。

◇発行

発行部数は最大 1000 部程度とし、約 70%相当分は全国の大学図書館、公立図書館などに無償配布。著者には最大 50 部を提供します。残りは書店を通じて販売します。

◇応募期間

2018 年度は 4 月 1 日～7 月 31 日

◇提出書類

- ・論文
 - ・応募者の連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）などを記載した用紙（形式自由）、履歴書
- * 郵送の場合は論文と連絡先、履歴などを記載した用紙と論文のファイル（Word）を当調査会までお送りください。関係書類を添付して当調査会の代表アドレス chosakai@helen.ocn.ne.jp宛にメールで送っていただいても結構です。

◇対象作品決定時期

2018 年 10 月末までに決定し、応募者本人にご連絡します。

◇決定後の流れ

作品決定後は、著者と当調査会の編集担当者が打ち合わせし、刊行までの作業日程、装丁、発行部数などを決めます。編集、校正作業を進め、原則として年度内に刊行します。

◇税務面の扱い

本事業は所得税法上雑所得として「課税」扱いになる場合があります（他の所得額や扶養の有無などにより税率は個人によって異なります）。必要経費は認められます。必要に応じて著者が本人の自己責任で税務上の手続きを行ってください。

◇問い合わせ先

当調査会事務局：担当者（倉沢、岡野）

電話：03-3593-1084

e-mail：chosakai@helen.ocn.ne.jp

◇過去の選定作品

2015年度 該当作品なし

2016年度 「コレクティブ・ジャーナリズム～中国に見るネットメディアの新たな可能性」。著者は朝日新聞社デジタル編集部記者、章蓉氏。

2017年度 「松方三郎とその時代」。著者は共同通信社OB 田邊純氏
「NPOメディアが切り開くジャーナリズム～『パナマ文書』報道の真相」、著者は日本放送協会OB、立岩陽一郎氏

*公益財団法人新聞通信調査会とは

わが国の新聞、通信社事業の発展に寄与することを目的とし、ジャーナリズムおよびマスコミュニケーションの調査研究とそれに関する図書、資料の刊行、講演会、研究会開催などの事業を展開している公益財団法人です。戦前の通信社で1945年10月に解散した同盟通信社の資産などをもとに1947年に設立されました。

現在はマスメディアに関するシンポジウムや講演会、世論調査、写真展などを定期的
に開催。メディア関係者の論文、記事を収録した月報「メディア展望」やメディア関係書籍を発行しています。国際報道部門で優れた業績を残した記者を表彰する「ボーン・上田記念国際記者賞」の選考管理業務を担っています。メディア関係の図書、資料を集めた専門図書館「通信社ライブラリー」も運営しています。

同盟通信社の解散後、通信社業務は現在の共同通信社と時事通信社に継承されました。当財団は両通信社とは現在も密接な関係を維持しています。

公益財団法人新聞通信調査会
(Japan Press Research Institute)

理事長 西沢豊

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1

日本プレスセンタービル 1階

電話：03-3593-1081（代表）

[URL:http://www.chosakai.gr.jp](http://www.chosakai.gr.jp)